

時間割コード	G3D21408	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュ（初級）					担当教員	山本 大貴
英文授業名	Practical English						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生	E 【8】
講義室	教育N 2 0 4 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Practical English に引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙 など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験においてグローバル化に対応できることを示す高スコアの取得にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	1. イントロダクション 2. 発音練習（r,l）、英会話練習1 3. 発音練習（b,v,h,f）、英会話練習2 4. 発音練習（s,sh,th）、英会話練習3 5. 発音練習（復習）、英会話練習4 6. 発音練習（ti,tu）、英会話練習5 7. 発音練習（オー,オウ）、会話テスト 8. 発音練習（様々なア）、読むことと話すことの技能統合型活動 9. 発音練習（復習）、ALTとの授業デザイン演習 10. 発音練習（Schwa）、Teacher-student Interaction練習1 11. 発音練習（連結）、Teacher-student Interaction練習2 12. 発音練習（脱落）、Teacher-student Interaction練習3 13. 発音練習（復習）、Teacher-student Interaction練習4 14. Teacher-student Interaction練習5、リフレクション、授業アンケート Teacher-student Interactionテスト *英会話練習・Teacher-student Interaction練習には、お手本となるやり取りの例などを読んだり聞いたりする時間もとります。						
(7)成績評価の方法	会話テスト（40%） Teacher Student Interactionテスト（40%） TOEIC IPテストのスコア(10%) （評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.0152 【上限10%】） 「Practical English 9 (Reallyenglish）」の自学自習(10%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・前時に学んだ語彙、文法、発音、やり取りのコツ等を復習し、次時の活動で活かせるようにしてください。						
(10)履修上の注意	英語を話す機会がたくさんありますが、スピーキングに慣れていない受講者を想定して授業を行うので、苦手でも心配しないでください。						
(11)質問、相談への対応	質問・相談大歓迎です。 研究室はN228、メールアドレスは yamamoto_hiroki@shinshu-u.ac.jp です。						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	
【参考書】	静哲人（2019）. 『日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる発音の教科書』テイエス企画.